

CDP2017日本報告会

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)  
最終報告を受けた動向

Developments in Climate Disclosure Practices  
Following the TCFD's Final Report

2017年10月24日

長村 政明

所属: 東京海上ホールディングス/東京海上日動

# 1.TCFD提案内容

## (1)TCFD:これまでの流れ

2015年4月

G20財務大臣・中央銀行総裁会議→金融安定理事会(FSB)  
「気候関連課題について、金融セクターがどの様に考慮していくべきか、官民の関係者を招集することを要請」

12月

金融安定理事会(FSB):気候関連財務ディスクロージャータスクフォース(TCFD)設立を公表

2016年2月

TCFD初回全体会合開催(ロンドン):現状把握、課題の洗い出し、作業スコープの検討開始

3月

フェーズ I レポート公表(~5月意見募集)  
→「シナリオ分析」の必要性を認識

12月

フェーズ II レポート公表(~2月意見募集)  
→全世界から300超の反応(本邦からも多数の意見提出)

2017年3月

FSB→G20財務大臣・中央銀行総裁会議報告

6月

TCFD→FSB 最終報告書提出  
TCFD:最終報告公表(6/29)

7月

FSB→G20首脳へ報告(7/3)  
G20首脳サミット(7/7-8):G20ハンブルグ行動計画に反映

# 1.TCFD提案内容

## (2)全セクター共通の提言内容

対象範囲：債券、株式の発行主体すべて。企業のほか、公的/民間年金基金、財団を含む。

ガバナンス (Governance)	戦略 (Strategy)	リスク管理 (Risk Management)	指標と目標 (Metrics and Targets)
気候関連のリスクと機会に係る当該組織のガバナンスを開示する。	気候関連のリスクと機会がもたらす当該組織の事業、戦略、財務計画への現在及び潜在的な影響を開示する。	気候関連リスクについて、当該組織がどのように識別、評価、及び管理しているかについて開示する。	気候関連のリスクと機会を評価及び管理する際に用いる指標と目標について開示する。
推奨される開示内容	推奨される開示内容	推奨される開示内容	推奨される開示内容
a) 気候関連のリスクと機会についての、当該組織取締役会による監視体制を説明する。	a) 当該組織が識別した、短期・中期・長期の気候関連のリスクと機会を説明する。	a) 当該組織が気候関連リスクを識別及び評価するプロセスを説明する。	a) 当該組織が、自らの戦略とリスク管理プロセスに即して、気候関連のリスクと機会を評価するために用いる指標を開示する。
b) 気候関連のリスクと機会を評価・管理する上での経営の役割を説明する。	b) 気候関連のリスクと機会が当該組織のビジネス、戦略及び財務計画（ファイナンスプランニング）に及ぼす影響を説明する。	b) 当該組織が気候関連リスクを管理するプロセスを説明する。	b) Scope 1、Scope 2及び、当該組織に当てはまる場合はScope 3の温室効果ガス（GHG）排出量と関連リスクについて説明する。
	c) 2°C或いはそれを下回る将来の異なる気候シナリオを考慮し、当該組織の戦略のレジリエンスを説明する。	c) 当該組織が気候関連リスクを識別・評価及び管理のプロセスが、当該組織の総合的リスク管理にどのように統合されているかについて説明する。	c) 当該組織が気候関連リスクと機会を管理するために用いる目標、及び目標に対する実績を開示する。

# 1.TCFD提案内容

## (3)特定セクター向け補助ガイダンス

気候変動の影響を潜在的に大きく受けるセクターについて、全セクター共通ガイダンスを補足する目的で補助ガイダンスを作成

### 金融セクター

銀行	保険会社	資産保有者 (アセットオーナー)	資産運用者 (アセット マネジャー)
----	------	---------------------	-----------------------

### 非金融セクター

エネルギー	運輸	材料 及び 建物	農業、食品、木材製品
<ul style="list-style-type: none"><li>- 石油、ガス</li><li>- 石炭及び燃料</li><li>- 発電</li><li>- 再生エネルギー発電</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>- 航空貨物及び物流</li><li>- 航空</li><li>- 船舶</li><li>- 陸運及び鉄道</li><li>- 自動車</li><li>- 交通インフラ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>- 化学</li><li>- 建築資材</li><li>- 金属及び採掘</li><li>- 資本財</li><li>- 不動産開発及び管理</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>- 紙及び木材製品</li><li>- 飲料</li><li>- 食品(農作物、食品及び食肉梱包)</li><li>- 非食品農業</li></ul>

(レポート本文 P.15, 別冊)

# 1.TCFD提案内容

## (4)シナリオ分析

疑問点	解説
国際的に認知されている気候リスクシナリオは何か？	<p><u>移行リスク</u>: 国際エネルギー機関(IEA) World Energy Outlook 450 ppm (いわゆる2°Cシナリオ)</p> <p><u>物理的リスク</u>: IPCC RCP 2.6 (いわゆる2°Cシナリオ)</p> <p>※但し、TCFD提言では標準的なシナリオを特定することは回避 企業開示にシナリオを用いた手法は国際的にも発展途上</p>
なぜシナリオを用いることが有益なのか？	<p><u>仮定に基づき将来発生し得る事象の潜在的な影響を識別し、評価するプロセス</u>。気候変動がもたらす物理的リスク/移行リスクが時間とともに自社事業に及ぼす影響の把握に有益と捉えられている。</p> <p>(シナリオそのものよりも)将来の展開を見据えた複数のパターンに基づくシナリオの下での戦略のレジリエンスが示されることが重要と認識。</p>
2°Cシナリオへの言及はあるが、国別削減目標(NDC)の扱いはどうなるのか？	<p>「NDC(国別削減目標)がエネルギー/排出量削減目標として一般的に受け入れられている国においては、<u>NDCは当該組織の気候関連シナリオ分析を行う際のシナリオの一つとして、とりわけ有用性のあるシナリオと成り得る。</u>」(レポート本文より)</p>

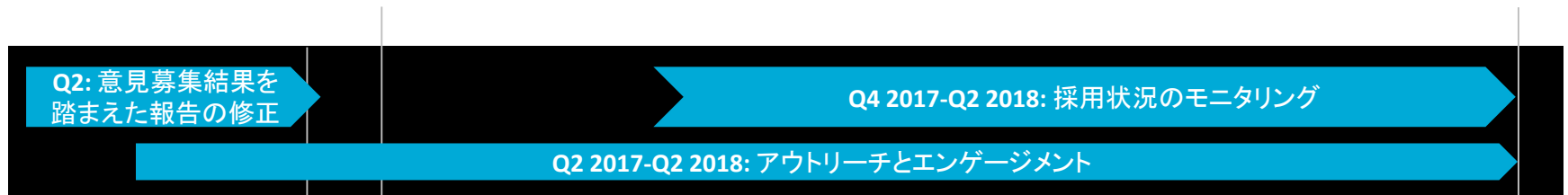
# 2.TCFD提言の今後の展開

## (1)TCFD作業日程

Second Quarter 2017	Third Quarter 2017	Fourth Quarter 2017	First Quarter 2018	Second Quarter 2018
---------------------	--------------------	---------------------	--------------------	---------------------

Jul 7-8: G20サミットにおけるFSB報告

Q2 2018: 採用状況モニタリングレポートの提出



Jun 29: 最終報告書公表

2017/10/31-11/1 TCFDとイングランド銀行共催「気候シナリオ、財務リスク、戦略計画に関するカンファレンス」開催予定(ロンドン、但し既に満席)

# 2.TCFD提言の今後の展開

## (2)今後の作業における主な論点

1. 既存の情報開示枠組みとの整合強化
2. マテリアリティ評価と情報開示の掲載先
3. シナリオ分析
4. データの入手可能性と質及び、財務的インパクトとの関連性
5. 投資関連のGHG排出量開示の意義
6. 報酬基準への反映
7. 会計基準設定機関との摺り合わせ
8. 短期・中期・長期の時間枠の捉え方
9. 開示当事者の範囲
10. 気候関連開示における組織内連携の強化促進

(レポート本文 P.32～39)

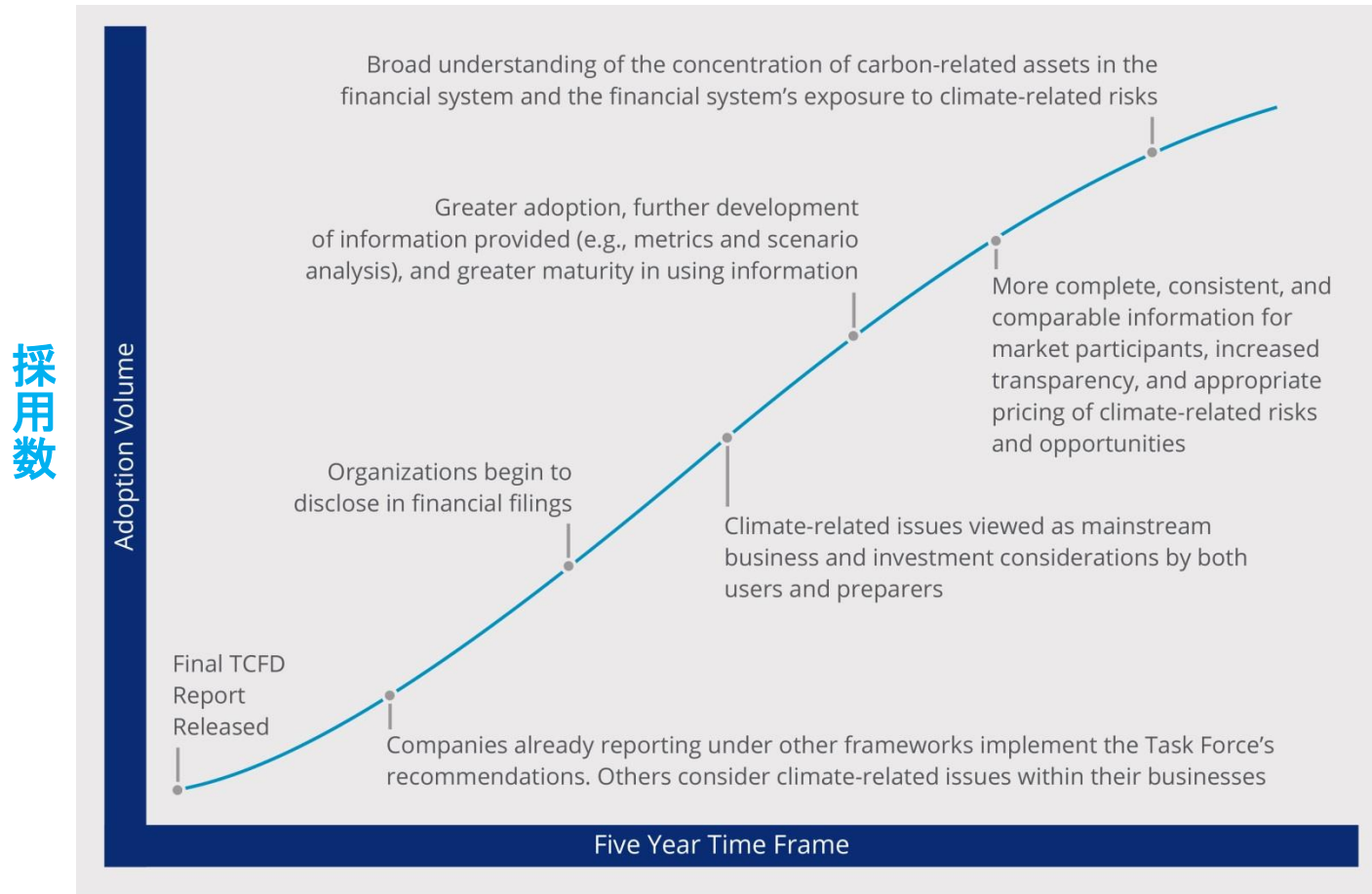


フェーズ IIIレポート公表イベント(2016年12月)におけるカーニー議長講演(話者撮影)

# 2.TCFD提言の今後の展開

## (3)普及・定着に向けたスピード感

### ＜TCFD提案内容の採用普及に向けた概念図＞



### 5年のタイムフレーム

(レポート本文 P.42)



## 2.TCFD提言の今後の展開

### (4)開示主体として考えられるアクション項目

- ✓ 官/民、投資家/投資先、国内外業界団体等、様々な当事者間での意見交換、対話に臨む。(シナリオの捉え方等)
- ✓ 気候関連開示の先行が予想される、欧州企業の取組みを注視する。
- ✓ 自社財務報告書にどこまでの情報を掲載すべきかを検討する。
- ✓ 理想形に対し、何年度掛けて進化させていくか、計画化できることが望ましい。
- ✓ シナリオ分析の導入に向けた、社内部門横断的な論議を開始する。

(話者による想起)

# 参照先/照会先

- **TCFDウェブサイト**(公表済レポート、最終報告書本文部分和訳、その他関連情報を掲載):

<https://www.fsb-tcfd.org/>

- **TCFDツイッターアカウント:**

@fsb\_tcfd

- **その他のご照会は長村まで:**

masaaki.nagamura@tmnf.jp

※本資料は飽くまでTCFD提言内容の概説を目的として作成したものであり、全ての細目を網羅したものではありません。詳細内容及び文意を確認される場合は、TCFDウェブサイト掲載のレポート原文をご参照ください。